

例会報告：2017年4月25日（晴れ）

第1977回 通常例会

◆ 会員誕生日

内山 昇さん（4月28日）

◆ 結婚記念日

齋藤 永さん（4月27日）



◆ ニコニコ箱

大川 裕 委員

	ニコニコ箱	累計	目標
4月25日分	8,000	680,515	1,200,000

* 会員誕生日

内山 昇さん…誕生日、お祝いいただきましてありがとうございます。

* 結婚記念日

齋藤 永さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。

* その他

清 康夫さん…4月15日に当社フジミ主催の第24回フジミフェア、小田原アリーナで開催し東京から静岡までのお得意様が1,300名参加し、無事に終了することが出来ましたので。

■4月9日に行った、“介助犬・聴導犬育成のための街頭募金”を「ウェルフェアポート湘南」の関水理事長にお渡しし、感謝状をいただきました。



■ボーイスカウト神奈川連盟小田原地区協議会会長の松蔭様に賛助金の贈呈いたしました。



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

■ 今後のメークアップ情報 ■

-2017年5月-

- ▶10日（水）小田原北
- ▶11日（木）小田原中 報徳会館 12：30
- ▶12日（金）湯河原 万葉荘 12：30
「会員による卓話」
- ▶12日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「卓話：クラブ研修」
- ▶15日（月）小田原 報徳会館 12：30
「卓話：プログラム委員会」
- ▶16日（火）箱根 55周年記念式典
- ▶17日（水）小田原北
- ▶18日（木）小田原中 移動例会
「職業奉仕&親睦・家族委員会合同例会」
- ▶19日（金）湯河原 万葉荘 12：30
「会員による卓話」
- ▶21日（日）足柄
「青少年育成事業「水源の森を訪ねて」」
- ▶22日（月）小田原 報徳会館 12：30
「クラブフォーラム⑩（新世代奉仕委員会）」
- ▶23日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30
「クラブ協議会（地区協報告）」
- ▶24日（水）小田原北
- ▶25日（木）小田原中 移動例会
「クラブフォーラム⑨（委員会活動報告）」
- ▶26日（金）湯河原 万葉荘 12：30
「クラブ協議会③次年度会長・幹事・委員長」
- ▶26日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「クラブ協議会」
- ▶29日（月）小田原 報徳会館 12：30
「卓話：プログラム委員会」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：櫻井 康二
 編集長：小林 和彦
 コピーライター：小林 和彦
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：大川 久弥

会員数：36名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
 ODAWARA JOHOKU R.C.
 2016-2017
 WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
 ジョン・ジャーム
 【R.I. 2780地区ガバナー】
 佐野 英之
 【第9グループガバナー補佐】
 高田 喜好



【会長】辻村 彰秀
 【副会長】阿久津 馨
 【幹事】櫻井 康二
 【副幹事】荻野 善明
 【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

本日の例会：通常例会（第1978回）

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2017年5月9日 12：30～13：50
 司会：荻野 善明 副幹事

12：30	開会点鐘：辻村 彰秀 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	卓話：茶道裏千家 教授 竹縄 慶子様
13：50	閉会点鐘：辻村 彰秀 会長

■ 寄稿 (20)

ひとつの国家、ひとつの企業、ひとり人間が栄える時は、その国家、企業そして人間をとりまく内外の条件がびつたりと合った時でしょう。日本が高度成長した時代というのは、日本の外部条件が日本に適合したからでしょう。その外部条件は①戦後のアメリカが日本に復興を支援するために莫大なガリオア基金、工ロア基金を当時の金で計12兆円受けたこと。（これがなければ日本は復興しなかったでしょう。この話をしだすと日露戦争後のアメリカのオレンジ計画からはじまりますので、興味のある方は私にきいて下さい。）②IMFによる為替の安定 ③GATTによる自由貿易が日本の前にひらけたこと。の3つです。また内部条件としては、①終身雇用 ②年功序列、そして③企業内組合の3つでしょう。勿論その当時の日本人の勤勉性と労働コストの低さもあります。わが国は本質的には、いまでも農業を主としている農耕民族の性格を色濃く残しています。国家の性格というもの、なかなか変わりませんね。先日来日したプーチン大統領をみると、16～19世紀のロマノフ王朝時代のロシアとほとんど

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 5月16日（火）通常例会 12：30
卓話：地区研修会報告
イニシエーションスピーチ（四方会員）
- 5月23日（火）移動例会（施設見学会）
卸団地例会場にて例会
13：00 出発
15：00 大相撲観戦（両国国技館）
18：15 懇親会（両国ちゃんこ料理屋）
参加費用：10,000円
- 5月30日（火）通常例会 12：30
卓話：御簾納 聖子（みずのせいこ）様
- 6月6日（火）通常例会 12：30
卓話：加藤 和磨 様
「夕張の現状について」
- 6月13日（火）通常例会 12：30
卓話：李 自然 様

どその考え方は変わっていません。農業の世界では、有能とか無能とかいうせちがらい価値基準はなく、そこにあるのはただただ自然の摂理にさからわず、暗がりに起き、畑を耕し、作物を育て、真夏には日照りの中で除草という仕事をして、日暮れて憩い休むというきまじめさと克苦精励する精神だけが美徳でした。ですから人間は山や野、畑、川といったものの中に溶けこんでいて、いわば自然の中の一つの要素であり、そこには能力という価値基準はなかった。田園風景を書いた水墨画の中にかかっている人を見るとそう思います。私達農耕民族には、集団主義、家族主義そして温情主義がその根底にあります。これは外部環境の変化によって、民族的な性格の欠損になりますが、いずれにしてもこの民族性を無視しては、国でも企業でも、ひとり人間でも大きな成果はあげられないと思います。皆様は如何お考えでしょうか。

= 暫時休稿 = 大谷 宏

例会報告：2017年4月25日（晴れ）

第1977回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2017年4月25日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは。先週の例会が休会でしたので2週間ぶりの例会です。皆様にはお久しぶりという感じがしております。又、4月16日の松田の立花学園で行われた地区協議会では、前日の設営準備から、当日の運営お手伝い、協議会の参加、綿屋での懇親会まで、長時間でしたが、たくさんの皆さんにご協力いただきまして本当にありがとうございました。会長として御礼申し上げます。

今日は、北朝鮮の軍創設記念日とのことで、朝からいろいろとマスコミ等でも騒がれておりますが、何事も起こらないことを祈っております。トランプ大統領の登場、イギリスのEU離脱、シリアでの化学兵器使用、イスラム国のテロ等々いろいろ重大な国際ニュースが、この頃よく流れますが、特に、北朝鮮の問題は地政学的にも日本にとっては重要な問題ですので、是非、韓国も含め、朝鮮半島においては日本にとって良い方向に進んでほしいと思っております。

本日、“ウェルフェアポート湘南”の関水理事長がいらっしゃっておられます。4月9日、日曜日に小田原駅アークロードにて行った、“介助犬・聴導犬育成のための街頭募金”を、お渡しいたします。このような活動は継続していき続けたいと思っております。

又、ボーイスカウト神奈川連盟小田原地区協議会会長の松蔭さまも、いらしていただいております。ボーイスカウトとは仲間達と自然の中で遊びながら、学び、より良き社会をを目指し、より良き社会を作ることを目的としている団体です。本年も、当クラブは賛助させていただきますので、この後、賛助金の贈呈をさせていただきます。宜しくお願いたします。来年度の募金活動の時には是非、援助をお願いしたいと思っております。

来週の5月2日はゴールデンウィーク期間中で、先週に続き、休会となります。よって、次回例会は5月9日になります。例会場は閉まっているので、お間違いなきようお願いいたします。

毎回ですが、会員増強の願いをし、会長挨拶といたします。ありがとうございました。

❖ 幹事報告

櫻井 康二 幹事

- 1) 次週、5月2日は休会です。
- 2) 5月9日の例会は卓話時間を20分延長になります。
- 3) 第11回定例理事会開催のご案内をポストインしました。理事の方、宜しくお願いします。
- 4) 4月16日の地区研修協議会で、2015-2016年度のEND POLIO NOWキャンペーンとロータリー財団寄付の表彰を受けました。



❖ 出席報告

本多 純二 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
4月25日	36(33)	25	0	75.76%
4月11日	36(34)	27	1	82.35%
4月4日	36(35)	27	0	88.57%

【欠席者】：8名

木村 頼弘、木村 啓滋、内山 修一、長田 英一、大高 英之、富田 浩一朗、大野 英明、上田 博和

【今回MU】なし

【前回MU】1名増加

富田 浩一朗 (4/16 地区協)

【前々回MU】2名増加

安藤 克己 (4/16 地区協)

上田 博和 (4/16 地区協)

❖ 委員会報告

職業奉仕委員会・守屋委員長

改めてご報告します。優良事業所見学会・大相撲五月場所見学は30人分のチケットを購入してありますので、ぜひ大勢の方ご参加ください。現在は15～6名です。チケットを無駄にしないよう、参加者不足の場合はロータリーファミリーやご友人などにもお願いする形になります。

次年度幹事・須藤委員

第二回準備理事会を5/9・14時から予定しています。ご出席よろしくお願いたします。2017～18のカレンダーが配布されました。スピーカーと卓話の予定がほぼ決まっていますのでご覧ください。また、休会日と夜間移動例会が例年より多くなっています。各部会配属表も添付されていますので、ご確認願いたします。次年度委員長は会長方針を読んでいただき、次年度委員会活動計画書をご記入ください。

❖ Table flower

- カンパニユラ
- ガーベラ
- アスチルベ

【花言葉】

カンパニユラ：「感謝」

ガーベラ：「思いやり」

アスチルベ：「自由」



❖ 卓話

「山北の町づくりについて」



株式会社露木勝兵商店 代表取締役・露木 尚徳 様

私は昨年まで足柄JCに所属しており、そのご縁でお声をかけていただきました。大きなことを成し遂げたとか、特別な知識を持っているという訳ではありませんが、私なりに地域を盛り上げようと活動してきた、その話をさせていただきます。まず自己紹介を。私は露木尚徳とい、今年40歳になります。高校生と小学生の二人の子どもと妻と暮らしており、露木勝兵商店の四代目として、山北町でお米やお酒を中心に食料品を扱うお店を営んでいます。小さい頃から店で育ったようなもので、地域の大人に見守られて大きくなったような印象です。中学校と進むにつれ、山北のことなど何も考えず華やかな都会で活躍したい望みが強くなり、大学卒業後はニッセンという会社に就職しました。ニッセンにはカタログ通販と現物販売の二部門があり、私は呉服や宝飾品を扱う現物販売部門に配属となりました。早ければ3年でマネージャー、店長になれると聞いて就職し、最初に配属されたのが福島県南相馬市です。営業の仕事は楽しかったのですが、朝8時から夜11時12時まで働かされ、早く偉くなって環境を変えたいと思いました。営業成績を上げるために都市部へ行きたいと考えて妻に相談したら「今できないことが場所を変えて何故できるのか」と。「ここで一番になりなさい」と言われ、非常に心に響きました。サラリーマン時代は周囲の方たちのお陰で、30歳前に営業部長までなれました。ただ、その頃から実家の変化を感じ始めます。実家の商売も町も他の店も活気がなくなってきていたのです。自分は仕事のやりがいもあり、お給料もある程度もらって頑張っていました。しかし事業部門閉鎖ということでリストラにあい退社することになりました。これだけ大ききても会社は潰れるんだと実感し、潰れない会社を作りたいと仲間3人と一緒に郡山で起業しました。ただ同時に「いつかは山北に帰って自分が盛り上げなければいけないんじゃないか」という気持ちもあり、3年で一人前の会社にして仲間に譲る気持ちで始めました。人並みに苦労して3年目で何とか利益も上げられるようになったので、大きな店舗に引っ越そうと計画しました。良い場所が見つかり、内装工事を終え、代金も支払った時に東日本大震災が起きます。その瞬間はこの世の終わりかと思いました。家族や近所の人の無事は確認できましたが、余震がひどく、水も出ないしガソリンは手に入らないし、正直会社はもうダメかと覚悟しました。でも創業メンバーと話し合ったら「元々ゼロから始まったんだから、やれるところまでやりましょう！」と言ってもらえたのです。安心したし、最初の予定通り彼らに任せて自分は身を引けると思えました。半年後には予定通り営業を始められ、その後実家に戻ることができました。晴々とした気持ちで山北へ帰れたのです。

山北へ移住する時、1つだけビジョンがありました。私の店は駅前商店街からは少し離れています。自分が子供の頃は駅前にもっと店があったし、遊ぶのも食事するのも駅前で、田舎なりの活気がありました。もう一度山北に活気を取り戻したい、商店街を人でいっぱいになりたい、との思いをもって地元に戻ってきたのです。そのため最初に考えたのは、まず自分の店を繁盛店にしようということでした。経営状態があまり良くない状態だった自分の店で色々な試みを始めます。でも簡単に繁盛していく訳もなく、考え方を改めて、仲間を作ろう、町全体で盛り上げなくてはと考え始めました。商工会に顔を出したりもした中で、一番大きかったのは足柄JCに参加したことでした。入会自体は3年くらいしかなく大した功績は残せませんでした。人と出会う仲間が増やせたことが大きかったです。行動力ある先輩が目前にいて刺激になりました。

山北町では月に1回朝市をやっている、2年ほど前から私も参加しています。最初の頃は7～8時という早く短い時間だったので全く人が来ませんでした。そこで自分が責任を持つからと説得して、9～12時までの第二部を始めました。協力してくれる人は他の町からも呼んで、初回は雨だったのですが500人くらい来てくれて、段々出店する店が増えていきました。最近はお店した店の方から「山北で店を持ちたい」と仰っていただけたりして、本当に小さな歩みでも少しずつ変わってきているのを感じます。もう一つ、山北町鉄道公園にあるD52という機関車を動かすイベントが去年ありました。

私は鉄道に詳しくなくてどんな意味があるのか分からなかったのですが、それを利用して町おこしの商品を作ってくれないかとの話が出ました。ピンと来なくて整備中の鉄道公園に行ってみることにしました。顔を真っ黒にしたオジサンが役所の人と喧嘩しているのが印象的で、何度か通っているうちに親しくなりました。その人は蒸気機関車を現在の動力で動かせる唯一の人だそうで、熱い思いを語ってくれました。それでD52が動くのがすごいことだと理解できたのです。うちで作れるものを考えると、お酒だ。お酒の組合も元気がないので、一緒に盛り上げたいと考えました。陶器製のD52型のボトルに山北の地酒『丹沢山』を入れて販売しようと決めました。値段は3,500円を考えていたら、皆「売れない」と言います。でも半年かけてゆっくり話を広げて、マスコミにも取り上げていただき、少しずつ評判になっていきました。同時にSLを動かす日程を10/14の1日から10/15との2日間にしてもらい、朝市のメンバーで大きなイベントをやることにしました。昼から夕方までお祭りのようなイベントをやりたい、相乗効果でお客が増えるのではないかと、半年がかりで企画を作り込みました。歩行者天国にしてもらって50～60店舗に出させていただいて、当日を迎えました。どれくらいの人に来てくれるか不安でしたが、山北にこんなに人がいたのかと驚くほど、5千人近くの来客がありました。単発でのことで、また普段の山北に活気は戻っていません。しかし少しずつでもアクションを起こしていけば、必ず何かが変わっていくと思えますし、できないことはないと信じています。これからの山北に期待しててください。